

4/6
(水)

小中学校入学式 不安と期待に胸ふくらませ



入学式の様子

4月6日、町内の小学校7校と中学校5校で入学式がありました。

令和4年度の新入生は小学校87人、中学校90人。新型コロナウイルス感染防止対策のため、各校では規模を縮小して実施されました。

鷹巣小学校(田畠正英校長・195人)では、新入生36人が保護者と一緒に期待と不安が入り交じる中、門をくぐりました。

田畠校長は「元気よく、話をしっかり聞いて、楽しく過ごしてほしい」と式辞を述べました。

新入生の山崎一^{いちと}寿君は「サッカーと勉強を頑張りたい」と笑顔で話しました。



緊張した様子で入場する新入生ら



姿勢よく校長先生の話^いに耳を傾ける新入生ら

4/8
(金)

転入学校職員宣誓式 子どもの育成に情熱を注ぐ

4月8日、指江支所で令和4年度転入学校職員宣誓式が行われ、今年度から町内に配属された教職員が決意を新たにしました。

今年度に転入された教職員は、小中学校や教育委員会に38人。新型コロナウイルス感染拡大を受け、出席者を減らして行われました。

大浦慶子教育長は「ふるさとを愛し、ふるさとを誇りに思えるよう、子どもたちの育成に情熱を注いでほしい」とあいさつしました。

転入者を代表して平尾小学校の赤井みなみ教諭は

「教育公務員の責務と責任を自覚し、誠実かつ公正に職務を執行します」と宣誓しました。



宣誓する赤井教諭